

横浜市立小田中学校



# 学校だより



6年度 第1号  
令和6年4月19日発行

6年度重点目標：たくましく、しなやかな心をもって  
自分らしく未来に向かう力の育成

令和6年度 小田中学校が始まりました！

校長 中野 瑞枝

小田中学校の令和6(2024)年度は、満開の桜が咲く4月8日(月)に新入生139名を迎え、2年生146名、3年生114名、総生徒数399名でスタートしました。生徒は、進級する期待と不安を胸にしながら登校したのではないのでしょうか。新しい教室での新たな友、担任との出会いにドキドキする生徒の様子は、新年度の風物詩となっています。

新年度をスタートするにあたり、2,3年生には、フランスの「アラン」というペンネームをもつ哲学者の著書『幸福論』から「幸福な人は、幸福だから笑っているわけではない。笑っているから幸福になれるのだ」という話をしました。自分が幸せになるために必要なことは、誰かによって与えられるものではありません。自分が笑顔になることで、今ある幸せに気づくことが大切です。まずは、自分自身のもつ良い面に目を向けて欲しいと思います。

次に、知らないことへの好奇心をたくさん持って下さい。想像は、「自分が欲する未来」を生み出す力を持っているとも言われます。自分がはっきりとした未来を想像できれば、それが目標になり、やる気が引き起こされるということ、心理学の先生は言っています。例えば「英会話が上達して、海外の人と直接話しができた」「空飛ぶ自動車を運転する」という未来の自分を想像することで、目標に向かうモチベーションがより強いものになります。未来の自分がうまくイメージできないときは、好きなことが何か、そこから想像してみてください。昔から「好きこそものの上手なれ」(好きなことは熱心に行い、自然と工夫し勉強するようになるから上達も早い)ということわざもあります。

また、入学式では、中学校生活をこれからスタートする新入生に、「皆さんは、ダイヤモンドの原石のように輝くものをそれぞれがもっています。その輝きは、それぞれ一人ひとり違います。これから始まる中学校生活の中で、小田中学校の仲間と共に、お互いが自分らしさを大切にして認め合い、高め合い、ライバルになったり、学習を教え合ったりして切磋琢磨することで磨きをかけ、自分をキラキラと輝かせて下さい」と話しました。入学式の新入生の呼名の返事や、話を聞く時の姿勢が立派で、本当に感心しました。また、新入生の様子から「中学校でも頑張ろう」という意気込みが感じとられ、これからの生徒の成長を頼もしく思いました。

令和6年度も教職員一同、鋭意努力して参ります。引き続き、御支援・御協力をいただきま すよう、どうぞよろしくお願いたします。

## 第34回 入学式 (4/8)

第34回入学式が実施されました。今年度139名の新入生を迎え、令和6年度を開始できることを嬉しく思います。中学生として人生の大切な時間を小田中学校で過ごすこととなります。ぜひ充実した学校生活の中で仲間とともに成長してくれることを心より願っております。



### 入学式 新入生誓いの言葉 全文

春の暖かな日差しの中、吹く風もやわらかな季節となった今日、私たち139名は小田中学校の入学式をむかえることができました。本日はこのような立派な入学式を行っていただき、皆様に新入生代表として心より感謝申し上げます。

私たちは6年間の小学校生活を終え、あこがれていた制服を着て新たなスタートを切ろうとしています。これから始まる中学校生活に期待と不安をいだきながら今日この日を迎えました。

私の中学校での目標は二つあります。一つ目は新しいことに挑戦していくことです。中学校からは勉強が難しくなったり、部活動が始まったりと初めてのことだらけの日々だと思います。その中でも新しい友達や先生との出会いを喜びとし、何事にもあきらめずに頑張っていきたいと思います。

二つ目は相手のことを考えて話したり行動したりすることです。相手のためと思ってしたことによっては傷つけてしまって悩んでしまうことも多々あると思います。相手がどう思うのかをよく考えて、思いやりの気持ちを持ち、みんなと仲良く過ごしていきたいです。この二つを目標に充実した三年間の中学校生活を送っていききたいと思います。

小田中学校には、「個性が発揮できる」「誰もが尊重される」「地域とともにつくる」という教育目標があります。この三つの精神を忘れず、大きな希望を胸に、立派な小田中生になれるように努力していきます。

先生方、先輩方、まだわからないことがたくさんありますが一生懸命取り組んでいきますので、ご指導くださいますよう、よろしくお願いいたします。

